

# 平成23年度 行政評価(事務事業評価)の項目別の件数・割合

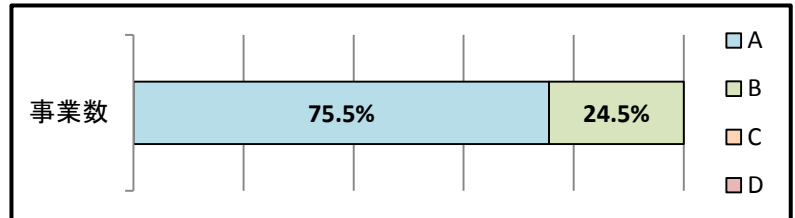
## 事務事業の評価・課題【Check】の項目別の件数・評価

平成22年度末における事務事業の執行状況に基づき、「必要性」「有効性」「効率性」の各視点を4段階で評価  
【評価値】⇒ A:高い B:比較的高い C:比較的低い D:低い

また、有効性及び効率性については、改善の余地の「有」「無」を評価

### 『必要性』に関する評価結果

評価	事業数	① ② ③		
		①	②	③
A	71	63	67	59
B	23	30	26	30
C	0	1	1	1
D	0	0	0	0
計	94	94	94	90

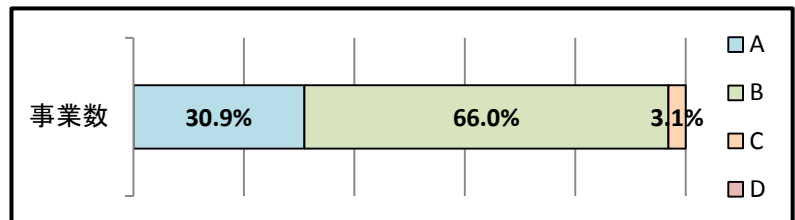


必要性:①～③を総合して評価

- ①: 市民のニーズは高いか
- ②: 市が主体的に実施すべきか
- ③: 市民・民間との役割分担は適切か

### 『有効性』に関する評価結果

評価	事業数	④ ⑤ ⑥		
		④	⑤	⑥
A	30	38	37	26
B	64	54	58	61
C	3	5	2	10
D	0	0	0	0
計	97	97	97	97

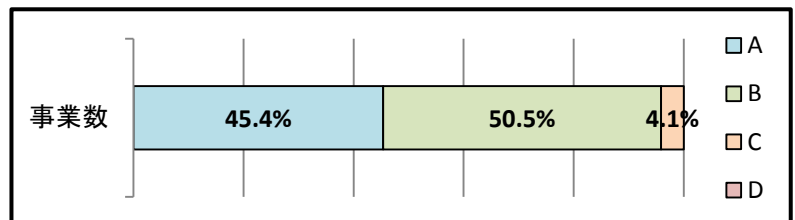


有効性:④～⑥を総合して評価

- ④: 事業目的に対し十分成果を上げているか
- ⑤: 活動結果が成果に結びついているか
- ⑥: 市民の満足度は高いか

### 『効率性』に関する評価結果

評価	事業数	⑦ ⑧ ⑨		
		⑦	⑧	⑨
A	44	47	36	53
B	49	45	51	38
C	4	5	10	5
D	0	0	0	0
計	97	97	97	96

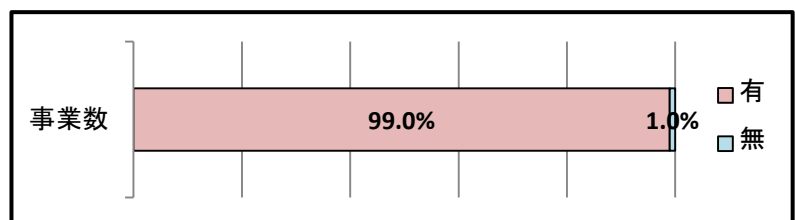


効率性:⑦～⑨を総合して評価

- ⑦: 活動の手段は適切であるか
- ⑧: 活動量に対して投入コストは適切か
- ⑨: 効率的に統合・連携等がされているか

### 『改善の余地』に関する評価結果

有無	事業数	有効性 効率性	
		有効性	効率性
有	96	94	87
無	1	3	10
計	97	97	97



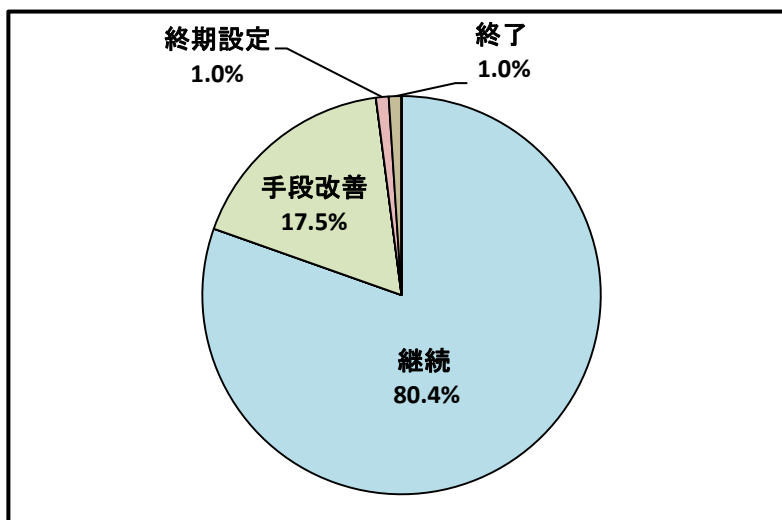
有効性・効率性の視点から改善余地の有無を評価

## 今後の方向性【Action】の項目別の件数・評価

平成22年度以降の事務事業の方向性及びコストについて評価

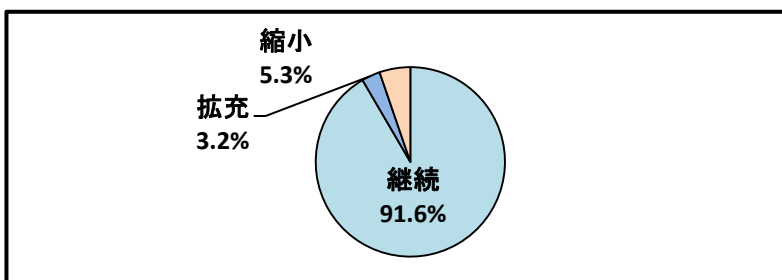
### ○今後の方向性

方向性	件数	割合
継続	78	80.4%
拡充	0	0.0%
手段改善	17	17.5%
縮小	0	0.0%
終期設定	1	1.0%
終了	1	1.0%
廃止	0	0.0%
計	97	100.0%



### ○今後の方向性(コスト)

コスト	件数	割合
継続	87	91.6%
拡充	3	3.2%
縮小	5	5.3%
計	95	100.0%



### ■過去の評価結果(今後の方向性)

方向性	H22		H21		H20		H19	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
継続	71	73.2%	95	97.9%	69	71.1%	52	53.6%
拡充	6	6.2%	5	5.2%	11	11.3%	10	10.3%
手段改善	28	28.9%	10	10.3%	33	34.0%	36	37.1%
縮小	1	1.0%	3	3.1%	0	0.0%	0	0.0%
終期設定	2	2.1%	2	2.1%	2	2.1%	1	1.0%
終了	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
廃止	0	0.0%	1	1.0%	1	1.0%	1	1.0%
計	109		117		116		100	